

■SDGs-スマートウェルネス住宅研究開発コンソーシアムについて

世界共通の政策課題としてのSDGsの推進、エビデンスに裏打ちされた健康で若年・子育て世代や高齢者が安心して暮らすことができる住宅及び住生活の実現を図り、今後急速に訪れる高齢化社会、低炭素社会に向けての住宅のあり方について、社会変革の加速化を促すことを目的とし、令和元年度より令和3年度まで国土交通省の補助の下運営される「SDGs-スマートウェルネス住宅研究企画委員会」（委員長：伊香賀俊治（慶應義塾大学教授）、顧問：村上周三（建築環境・省エネルギー機構理事長））を立ち上げ、検討を進めてまいりました。

令和4年度（2022年度）からは、令和3年度（2021年度）まで実施してきたSDGs-SWH研究の検討内容を継続・具現化し、世界共通の政策課題としてのSDGsの推進のために、「SDGs-スマートウェルネス住宅設計ガイド研究委員会」を新たに立ち上げ、SDGs達成に資するスマートウェルネス住宅研究開発を行っていくこととなりました。

「SDGs-スマートウェルネス住宅研究開発コンソーシアム」は上記研究の実施にあたり、産業界、特に住宅に関連する幅広い業界関係者の意見を活かし有益な成果をあげることを企図して組織されたものです。

本コンソーシアムにご参加いただきますと、スマートウェルネス住宅に係る検討部会への参加や、最新情報の取得や意見交換、企業単位では検討が難しい評価手法等の開発、実建物での測定・検証結果等研究成果の共有等が可能となります。また、年度研究報告書、コンソーシアム会員限定の討論会への参加、各種シンポジウム等の優先案内を受けることができます。

SDGs-スマートウェルネス住宅研究開発コンソーシアムへご参加いただける企業・法人を随時広く募集いたしておりますので、是非参加をご検討いただきたくお願い申し上げます。

参加ご希望の方は下記事務局までご連絡ください。

SDGs-スマートウェルネス住宅研究開発コンソーシアム事務局
（一般社団法人日本サステナブル建築協会 内）
担当：熊本、井田
<連絡先>
代表電話：03-3222-6391
E-Mail：swsurvey@jsbc.or.jp

【研究内容】 ※令和4年度（2022年度）～

- ① **普及戦略部会** 部会長：村上周三（住宅・建築SDGs推進センター理事長）
2022年度に各自治体から公表される住生活基本計画（地域計画）などの最新情報を反映した全国自治体におけるSDGs-SWH政策の取組状況調査と健康住宅政策の将来動向分析
- ② **環境基準案検討部会** 部会長：伊香賀俊治（慶應義塾大学教授）
住宅と健康に関する医学的エビデンスに基づく室内環境基準案（自然素材内装など含む）の作成
- ③ **設計支援ツール開発部会** 部会長：秋元孝之（芝浦工業大学教授）
最新の医学的エビデンス、省エネ地域区分を拡充した設計支援ツールの開発
- ④ **設計ガイド検討部会** 部会長：小泉雅生（東京都立大学大学院教授）
健康に暮らす住まい9つのキーワード 設計ガイドマップ・JSBC健康維持増進住宅研究委員会：2013年発行の全面改訂、感染対策チェックリストの内容を含めたガイドラインの策定

【組織体制】

